(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3658424号
(P3658424)
(45)発行日　平成17年6月8日(2005.6.8)　(24)登録日　平成17年3月18日(2005.3.18)

(51)Int.Cl.[7]　F I
A63F 7/02　A63F 7/02 326G
A63F 7/02 355Z

請求項の数 3　(全 10 頁)

(21)出願番号　特願平6-291976
(22)出願日　平成6年11月2日(1994.11.2)
(65)公開番号　特開平8-131635
(43)公開日　平成8年5月28日(1996.5.28)
審査請求日　平成13年10月31日(2001.10.31)

(73)特許権者　000132747
株式会社ソフィア
群馬県桐生市境野町７丁目２０１番地
(74)代理人　100061642
弁理士　福田　武通
(74)代理人　100082669
弁理士　福田　賢三
(74)代理人　100095337
弁理士　福田　伸一
(72)発明者　新山　吉平
群馬県桐生市広沢町３－４２９７－１３
(72)発明者　伊東　広司
群馬県桐生市三吉町２－２－２９

審査官　飯野　茂

最終頁に続く

(54)【発明の名称】遊技機

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技者に面する前面領域に、煙草の灰や吸殻を入れるための機能を有する灰皿機能手段を備えた遊技機において、
上記灰皿機能手段は、
横方向の軸を回動軸として回動することにより、灰受け凹部を上向きに開放させた使用可能状態と、灰受け凹部を下向きに開放させた使用不能状態とに変換可能な灰皿部材と、上記灰皿部材を使用可能状態と使用不能状態とに保持する状態保持手段と、
からなり、
上記灰皿部材の使用不能状態においては、有意表示を施した表示部が上面側に現れるようにしたことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
上記灰皿部材は、機枠の前面側に回動可能に設けられた前面枠の下部に設けた球受皿の一側部に設けられるものとし、
上記灰皿部材の両側面より延出する回動軸は、球受皿に設けられた前後方向のスライド溝に沿ってスライド移動できるようにし、
上記灰皿部材を使用可能状態にしたときと使用不能状態にしたときとで、球受皿から灰皿部材にかけての表面形状が略々同一の外観となるようにしたことを特徴とする請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】

上記灰皿部材が使用可能状態と使用不能状態とに変換することを困難ならしめる使用状態固定手段を備えることを特徴とする請求項１又は請求項２に記載の遊技機。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【産業上の利用分野】

本発明は、喫煙を行う遊技者のために灰皿の機能を備えた遊技機に関するものである。

【０００２】

【従来の技術】

従来より、パチンコ機やパチスロ等に代表される遊技機には、灰皿の機能が付加されている。このような従来の灰皿機能は、遊技機前面下方部の球受皿等に灰皿部材を設けたもので、この灰皿部材は上面に灰受け凹部を有している。そして、灰皿部材は回動可能に構成されており、灰皿部材を回動させることによって灰受け凹部から落ちた灰や吸殻等を回収して行くようになっている。

【０００３】

また、昨今は禁煙ムードが高まっており、禁煙コーナーや禁煙デイを設ける遊技店も多くなっている。このような場合、遊技店では、遊技客がうっかり喫煙行為に及ばないように、灰皿部材の灰受け凹部を遮蔽するようにして「禁煙」等の表示を施したテープを貼っておき、遊技者が灰皿の使用を自粛するようにしている。

【０００４】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、上記したような従来の遊技機に設けた灰皿機能手段においては、清掃のための灰や吸殻の回収が非能率的であり、清掃作業を煩雑なものにしてしまう。こういった灰や吸殻の清掃作業に伴う煩雑さを解消するといった観点から、禁煙コーナーを充実させる遊技店も多くなっているが、各遊技機の灰皿に対して逐一テーピングして行く作業も煩雑であると共に、遊技機の美的外観も損なわれてしまう。よって、各遊技機毎に設けられた灰皿を使用させずに、複数の遊技機列を連ねた島設備内に灰や吸殻の回収機構を設ける遊技店もあるが、汎用的な遊技機には、灰皿機能手段が予め設けられていることから、これら遊技機の灰皿を予め使用できないようにしておかなければ、遊技者が島設備の回収機構を使用しないで各遊技機の灰皿を使用してしまうこともある。従って、灰や吸殻等の回収機構を島設備に設けても、遊技機の灰皿に対してテーピング等の手段を講じなければならないことから、必ずしも有効な対策とは言えない。

【０００５】

そこで、本発明は、テーピング等の煩雑な作業を要することなく、灰皿を使用できない状態にできる灰皿機能手段を備えた遊技機の提供を目的とする。

【０００６】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項１に係る発明は、遊技者に面する前面領域に、煙草の灰や吸殻を入れるための機能を有する灰皿機能手段を備えた遊技機において、上記灰皿機能手段は、横方向の軸を回動軸として回動することにより、灰受け凹部を上向きに開放させた使用可能状態と、灰受け凹部を下向きに開放させた使用不能状態とに変換可能な灰皿部材と、上記灰皿部材を使用可能状態と使用不能状態とに保持する状態保持手段と、からなり、上記灰皿部材の使用不能状態においては、有意表示を施した表示部が上面側に現れるようにしたことを特徴とする。

【０００７】

【作用】

灰皿機能手段の灰皿部材が状態保持手段によって使用可能状態に保持されている場合には、灰皿を使用することができ、灰皿部材が状態保持手段によって使用不能状態に保持されている場合には、灰皿を使用することができない。

【０００８】

【実施例】

次に、本発明に係る遊技機の実施例を添付図面に基づいて詳細に説明する。

【０００９】

遊技機１は図１に示すように、硬質樹脂で形成した四角箱枠状の機枠２に、遊技に関連した各種機能を付加したものである。なお、図１では省略したが、遊技機１には機枠２の外に、プリペイドカード（所定の金額で予め販売されるパチンコ遊技用のカードであって、通貨と等価な有価データを磁気記録部に記憶させたカード状の記憶媒体）の使用を可能ならしめるカード制御機能や球貸制御機能等を備えるカード制御枠を有し、該カード制御枠と機枠とが機能的に接続されることで、遊技球の貸出機能を備えた遊技機１として機能する。

【００１０】

上記四角箱枠状の機枠２の前面側には、額縁状の前面枠３を回動可能に設けてある。そして、該前面枠３に開設した窓部３ａにはガラス枠４および前面パネル５を回動可能に設けてあり、透明なガラスが配設されるガラス枠４の後方には、ガイドレールで囲まれた遊技部を有する遊技盤（図示省略）を配設してある。この遊技盤は、パチンコ遊技の主体となるもので、ソレノイド等の電気的駆動源によって遊技球を弾発する打球発射機構（図示省略）から発射された球がガイドレールを介して遊技部へ供給されると、該遊技部内に設けた各種入賞領域の何れかに入賞すると、賞品球としての賞球が遊技者に与えられ、何れの入賞領域にも入賞しなかった球は、アウト口より外れ球として回収される。

【００１１】

また、上記ガラス枠４の下方に位置する前面パネル５には、賞球（打球が遊技部内に設けた入賞領域の何れかに入賞することに基づいて遊技者が獲得する球）や貸球（当該遊技店から遊技者に貸し出された球）を貯留する球供給皿６を設けてあり、この球供給皿６より発射球待機部（図示省略）へ球を供給し、供給された遊技球を上記打球発射機構によって弾発するのである。また、前面枠３の下部適所には打球発射機構を操作するための操作ハンドル７や、上記球供給皿６に貯留できない球を受け入れる球受皿８等を適宜に設けてある。

【００１２】

なお、上記球供給皿６の適所には、プリペイドカードの残度数を可視表示するためのカード残度数表示器６ａ，プリペイドカードの残度数の範囲内で球貸要求を行うための球貸ボタン６ｂ，プリペイドカードの返却を要求するための返却ボタン６ｃ等を設けてあり、上記カード制御枠内に収納されるカード制御機能と協働することによって、プリペイドカードを用いた遊技球の貸出を可能ならしめるのである。

【００１３】

上記球受皿８の一側部には、灰皿部材９を設けてあり、該灰皿部材９の上面側には煙草の灰や吸殻等を入れるための灰受け凹部９ａを形成してある。この灰皿部材９の第１実施例は、図２～図４に示す如く、球受皿８とは別体に構成すると共に、灰皿部材の左右側面から延出させた横方向の回動軸１０，１０に対して回動自在としてある。而して、灰受け凹部９ａが上面に開放することで煙草の灰等を受入れ得る使用可能状態（図２（ａ）及び（ｂ）参照）から、例えば灰受け凹部９ａを前面側へ向けるように回動させ（図３（ａ）及び（ｂ）参照）、灰受け凹部９ａを下向きに開放させた使用不能状態（図４（ａ）及び（ｂ）参照）にすると、例えば「禁煙」の文字等の有意表示を施した表示部１１が遊技者の視認容易な位置である上面側に現れるようにしてある。

【００１４】

また、球受皿８には、灰皿部材９の両側面より延出する回動軸１０，１０を受入れるための軸受部８ａ，８ａを形成してあると共に、灰皿部材９の一側面側に設けた丘陵状の位置決め凸部９ｂを嵌入させる第１位置決め凹部８ｂおよび第２位置決め凹部８ｃを形成してある。そして、灰皿部材９が使用可能状態にあるときには、位置決め凸部９ｂが第１位置決め凹部８ｂに嵌入することで、当該状態を良好に保持し、灰皿部材９が使用不能状態にあるときには、位置決め凸部９ｂが第２位置決め凹部８ｃに嵌入することで、当該状態を良好に保持するように、配設位置を適宜に定めてある。すなわち、本実施例においては、

灰皿部材９の位置決め凸部９ｂと球受皿８の第１，第２位置決め凹部８ｂ，８ｃによって、灰皿部材９を使用可能状態と使用不能状態とに保持する状態保持手段として機能するのである。

【００１５】

さらに、本実施例においては、球受皿９に設けたネジ孔８ｄへ螺着したネジ１２の端部を、灰皿部材９に設けた第１固定凹部９ｃ内へ延出させることによって、灰皿部材９は使用可能状態に固定され、ネジ１２の端部を灰皿部材９に設けた第２固定凹部９ｄ内へ延出させることによって、灰皿部材９は使用不能状態に固定されることとなる。すなわち、本実施例においては、灰皿部材９に設けた第１，第２固定凹部９ｃ，９ｄと球受皿８のネジ孔８ｄとネジ１２によって、灰皿部材９が使用可能状態と使用不能状態とに変換することを困難ならしめる使用状態固定手段として機能するのである。

【００１６】

以上説明したように、球受皿８に灰皿機能手段を形成した本発明に係る遊技機１においては、位置決め凸部９ｂや第１，第２位置決め凹部８ｂ，８ｃ等よりなる状態保持手段によって、灰皿部材９を使用可能状態と使用不能状態とを選択的に保持させることができる。したがって、遊技機１の灰皿機能手段を使用させたくない場合には、灰皿部材９の灰受け凹部９ａにテーピングするためのテープ等を別途用意して、煩雑なテーピング作業を行う必要がないと共に、遊技機１自体の美的外観を著しく損ねることもない。

【００１７】

なお、上記実施例においては、灰皿部材９の灰受け凹部９ａが上方に開口する使用可能状態と灰受け凹部９ｂが下方に開口する使用不能状態とが各々一つの状態である場合を例示したが、これに限定されるものではない。例えば、灰皿部材９の回動角度を異ならしめることで灰や吸殻の収納容積を変化させ、第１使用可能状態，第２使用可能状態…といった設定を行うことで、ヘビースモーカー用灰皿，節煙者用灰皿といった使い方をしても良い。また、回動角度を変えることで、第１使用不能状態や第２使用不能状態…といった設定を行い、遊技者に視認できる表示部１１の表示内容を異ならしめるようにしても良い。

【００１８】

上記した第１実施例の灰皿部材９においては、横方向の回動軸１０，１０に対して回動させる関係上、回動時に球受皿８本体に衝接することを回避する必要があるために、使用可能状態における灰皿部材９の下部前後方向の２辺を比較的径の大きな曲面状に形成する必要があることから、灰皿部材９が使用可能状態にあるときと使用不能状態にあるときとで、外観に差異が生ずることとなる（特に図４（ｂ）参照）。そこで、灰皿部材を使用可能状態としたときも使用不能状態としたときも、球受皿８から灰皿部材にかけての表面形状が略々同一の外観となるような灰皿機能手段の第２実施例を、図６～図８に基づいて詳述する。

【００１９】

灰皿部材１９の灰受け凹部１９ａが上方に開口している使用可能状態においては、灰皿部材１９の左右両側面より延出させた回動軸１０′，１０′が、球受皿８側に設けた前後方向に位置するスライド溝１３の前側端部から下方に落ち込むように形成した第１軸受部１３ａ内に定置された状態となる（図６（ａ），（ｂ）を参照）。このとき、灰皿部材１９の側面適所に設けた位置決め凸部１９ｂが、上記実施例と同様に、球受皿８の第１位置決め凹部８ｂに嵌まり込むことで、使用可能状態を良好に保持できるようにしてある。

【００２０】

上記のような使用可能状態から、灰受け凹部１９ａの開口部を前側に傾倒させるようにして灰皿部材１９を回動軸１０′に対して回動させ、灰受け凹部１９ａが下方に開口する状態になったところで灰皿部材１９を若干持ち上げ（図７（ａ），（ｂ）を参照）、スライド溝１３に沿って灰皿部材１９を後方へスライド移動させたところで、スライド溝１３の後ろ側端部から下方に落ち込むように形成した第２軸受部１３ｂ内に回動軸１０′を落とし込んで、使用不能状態に変換する（図８（ａ），（ｂ）を参照）。このとき、灰皿部材１９の位置決め凸部１９ｂが球受皿８の第２位置決め凹部８ｃに嵌まり込むことで、使用

不能状態を良好に保持できるようにしてある。

【００２１】

すなわち、上述した第２実施例においては、灰皿部材１９に設ける回動軸１０′の配設位置を、側面部の中心から偏心せしめて設定することにより、使用可能状態における灰皿部材９の下部前後方向の２辺を比較的径の小なる曲面状に形成することができるので、灰皿部材１９を使用可能状態にしたときと使用不能状態にしたときとで、球受皿８から灰皿部材１９にかけての表面形状が略々同一の外観となる。

【００２２】

なお、上記第２実施例においては、灰皿部材１９における使用可能状態と使用不能状態との外観形状を近似させるために、スライド溝１３に沿って灰皿部材１９を後方へスライド移動させるものとしたが、これに限定されるものではない。例えば、図９に示す第３実施例の如く、灰皿部材２９の灰受け凹部２９ａが上方に開口した使用可能状態（図９（ａ）参照）から、偏心状に設けた回動軸１０′，１０′に対して灰皿部材２９を回動変換させて、使用不能状態（図９（ｂ）参照）に変換するようにしても良い。

【００２３】

而して、第３実施例における灰皿部材２９が使用不能状態に変換された際には、例えば飲料用容器としての紙コップ１４を載置可能な容器受け凹部２９ｂが現れるようにしてある。すなわち、灰皿部材２９を使用不能状態にすると、飲料用容器の載置手段たる容器受け凹部２９ｂが使用可能となり、禁煙コーナー等に設置した遊技機１の灰皿部材２９を使用不能状態に変換したときには、清涼飲料等を安定的置けるという付加価値を灰皿機能手段に与えることができる。

【００２４】

また、第３実施例における灰皿機能手段における状態保持手段は、球受皿８に遊技者がスライド操作可能なスライド部材１５と、該スライド部材１５に設けた嵌入片１５ａが嵌まり込むような灰皿部材２９側面の所定位置に設けた第１嵌入凹部１６ａと第２嵌入凹部１６ｂとによって構成してある。すなわち、灰皿部材２９の使用可能状態においては、嵌入片１５ａが第１嵌入凹部１６ａに嵌まり込むことで該状態を保持し、灰皿部材２９の使用不能状態においては、嵌入片１５ａが第２嵌入凹部１６ｂに嵌まり込むことで該状態を保持するのである。

【００２５】

なお、灰皿機能手段における灰皿部材を使用不能状態にしたときに得られる付加機能は、紙コップ１４を置くものに限定されず、種々の使用方法が想定される。例えば、図１０（ａ）に示すように、遊技価値記憶媒体としてのプリペイドカード１７ａが使用済みとなった場合にそれらを回収するためのカード回収凹部２９ｃを形成したり、図１０（ｂ）に示すように、硬貨やパチスロ用の遊技コイン１７ｂを整列状に収容するためのコイン収納凹部２９ｄを形成したり、図１０（ｃ）に示すように、遊技媒体たるパチンコ球１７ｃを収容するための球受け凹部２９ｅ…を形成したりしても良い。

【００２６】

また、上記コイン収納凹部２９ｄに対して、コインの収容枚数の目安となるコイン収容枚数指標部１８を刻設あるいは印刷しておくと、コイン収納凹部２９ｄ内に貯めてある遊技コインの枚数を遊技者が計数するときの利便性を高めることができるので、単なる遊技コイン収容部ではなく、遊技コイン計数補助手段として使用できるようになる。同様に、パチンコ球１７ｃを収容するための球受け凹部２９ｅの数を適宜な数（図１０（ｃ）の実施例では２０個）に設定しておくと、全ての球受け凹部２９ｅにパチンコ球１７ｃが収容されることによって所定数のパチンコ球を計数することができるので、遊技媒体計数補助手段として使用できるようになる。

【００２７】

上記した第１～第３実施例における灰皿部材９，１９，２９においては、横方向の回動軸１０，１０′を球受皿８内の軸受部やスライド溝内に収容する必要があることから、灰皿機能手段の組立時における作業工程は必ずしも効率的とはいえないと共に、灰皿部材９

，１９，２９の回動時に球受皿８本体に衝接することを回避する必要があるため、球受皿８本体との間に凹凸が生じてしまい、掃除がし難いといった問題点も想定できる。そこで、灰皿部材を使用可能状態としたときも使用不能状態としたときも、球受皿８と略々面一状となるような形状の灰皿部材を以て、灰皿機能手段を構成する場合の参考例を、図１１に基づいて詳述する。

【００２８】

灰皿部材３９は、球受皿８に対して着脱可能であり、灰受け凹部３９ａを上向きに開放させた状態で、左右両側方に形成したスライド片３９ｃ，３９ｃを球受皿８側に形成したガイド溝８ｅ，８ｅに沿わしめて球受皿８に嵌め入れると、使用可能状態となり、灰受け凹部３９ａを下向きに開放させた状態で、スライド片３９ｃ，３９ｃをガイド溝８ｅ，８ｅに沿わしめて球受皿８に嵌め入れると、使用不能状態となり、例えば、表示部１１′が遊技者の視認容易な位置に現れるのである。なお、使用可能状態あるいは使用不能状態において、ネジ口８ｄに螺着したネジ１２を以て灰皿部材を固定しておけば、遊技者が勝手に使用状態を変更することを困難にできる。

【００２９】

斯くすれば、灰皿部材３９を回動させることなく使用可能状態と使用不能状態との変換を行えるので、灰皿部材３９の片縁を曲面にする必要がなくなり、球受皿８から灰皿部材３９にかけての外表面を略々面一状に形成することができる。従って、表面に凹凸がないことから、清掃作業の効率を上げることができると共に、遊技者に与える遊技機１の外観形状の印象も良好となる。加えて、灰皿部材３９を取り外して灰や吸殻の回収を行うことができるので、この点からも遊技店内における清掃作業の効率化を期せる。

【００３０】

上記した各実施例においては、球受皿８の位置側部に灰皿機能手段を付加する例のみを示したが、灰皿機能手段の配設位置は特に限定されるものではなく、遊技者の利便性に供し得る適所に変更して良い。

【００３１】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明に係る遊技機によれば、状態保持手段によって、灰皿部材を使用可能状態と使用不能状態とに保持できるので、テーピング等の煩雑な作業を要することなく、灰皿を使用できない状態に変換すると共に該状態を保持させることができる。したがって、遊技機の灰皿機能手段を使用させたくない場合には、灰皿部材の灰受け凹部にテーピングするためのテープ等を別途用意して、煩雑なテーピング作業を行う必要がないと共に、遊技機自体の美的外観を著しく損ねることもない。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明における遊技機の斜視図である。

【図２】（ａ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用可能状態とした平面図である。

（ｂ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用可能状態とした側面図である。

【図３】（ａ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用可能状態から使用不能状態に変換する過程の平面図である。

（ｂ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用可能状態から使用不能状態に変換する過程の側面図である。

【図４】（ａ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用不能状態とした平面図である。

（ｂ）球受皿に設けた第１実施例における灰皿部材を使用不能状態とした側面図である。

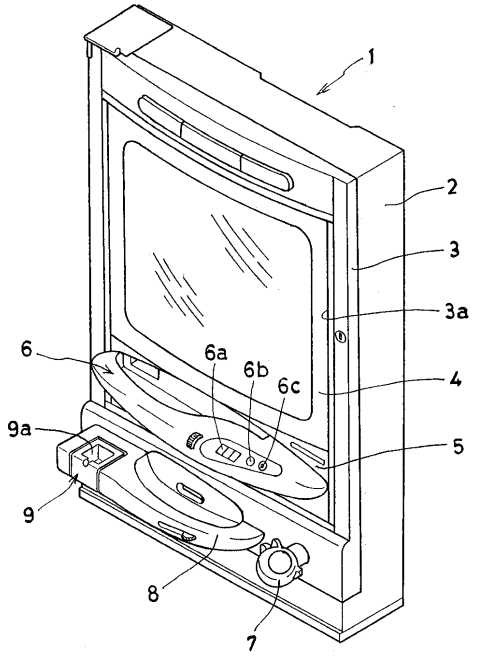
【図５】使用可能状態に保持された第１実施例における灰皿部材の詳細を示す拡大平面図である。

【図６】（ａ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用可能状態とした平面図である。

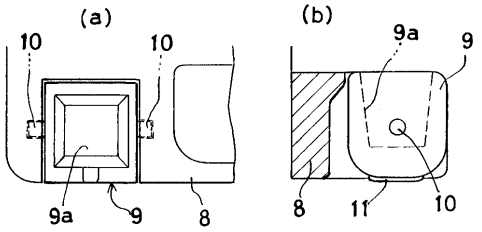
（ｂ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用可能状態とした側面図である。

【図７】（ａ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用可能状態から使用不能状態に変換する過程を示す平面図である。
（ｂ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用可能状態から使用不能状態に変換する過程を示す側面図である。
【図８】（ａ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用不能状態とした平面図である。
（ｂ）球受皿に設けた第２実施例における灰皿部材を使用不能状態とした側面図である。
【図９】（ａ）球受皿に設けた第３実施例における灰皿部材を使用可能状態とした斜視図である。
（ｂ）球受皿に設けた第３実施例における灰皿部材を使用不能状態として、飲料用容器の載置手段を使用可能状態にした斜視図である。
【図１０】（ａ）球受皿に設けた第３実施例における灰皿部材を使用不能状態として、遊技価値記憶媒体の回収手段を使用可能状態にした斜視図である。
（ｂ）球受皿に設けた第３実施例における灰皿部材を使用不能状態として、硬貨収納手段を使用可能状態にした斜視図である。
（ｃ）球受皿に設けた第３実施例における灰皿部材を使用不能状態として、遊技球数計数補助手段を使用可能状態にした斜視図である。
【図１１】　（ａ）球受皿に設けた参考例における灰皿部材を使用可能状態にして取り付ける過程を示した斜視図である。
　（ｂ）球受皿に設けた参考例における灰皿部材を使用不能状態にして取り付ける過程を示した斜視図である。
【符号の説明】
１　　遊技機
８　　球受皿
８ａ　軸受部
８ｂ　第１位置決め凹部
８ｃ　第２位置決め凹部
９　　灰皿部材
９ａ　灰受け凹部
９ｂ　位置決め凸部
１０　　回動軸

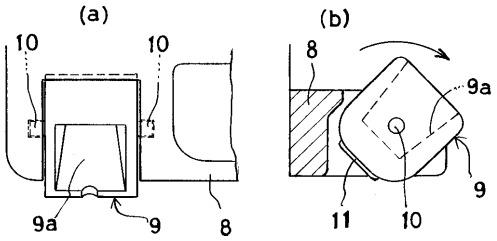
【図１】



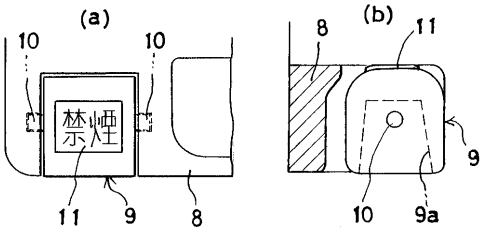
【図２】



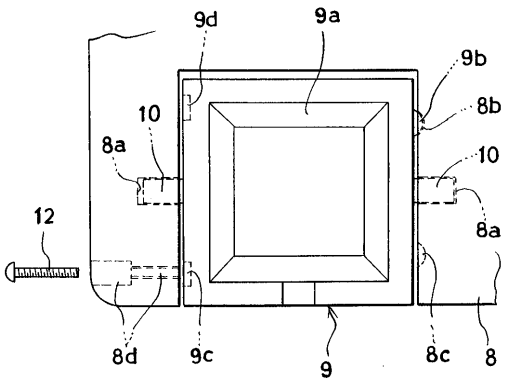
【図３】



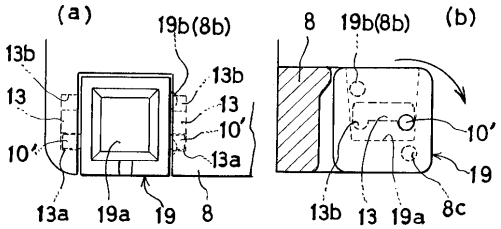
【図４】



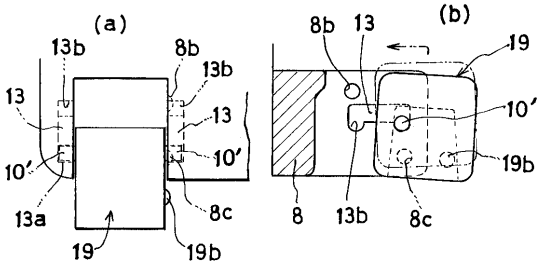
【図５】



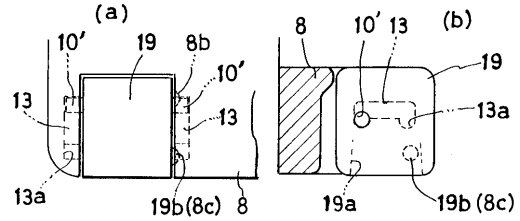
【図６】



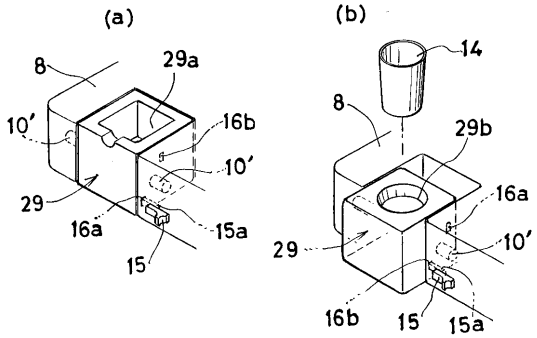
【図７】



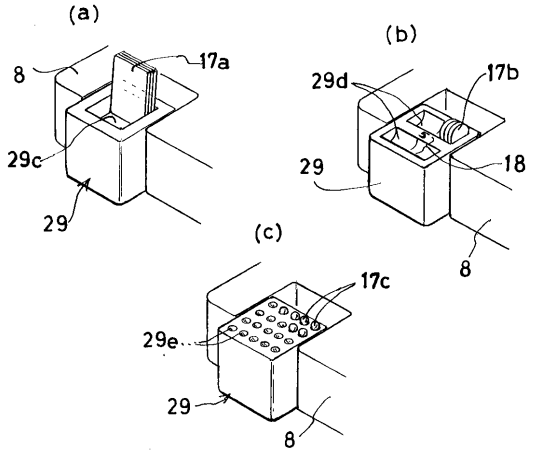
【図８】


(a)
10′
19
8b
10′
13
13
13a
19b(8c)
8
(b)
8
10′
13
19
13a
19a
19b(8c)

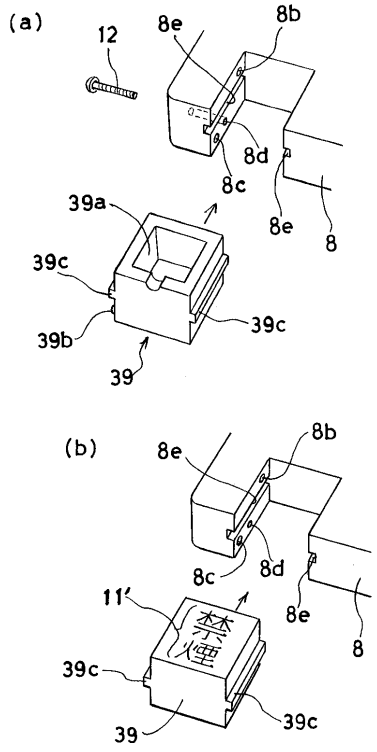
【図９】


(a)
8
29a
10′
16b
10′
29
16a
15a
15
(b)
14
8
29b
16a
10′
29
16b
15
15a

【図１０】


(a)
8
17a
29c
29
(b)
29d
17b
29
18
8
(c)
17c
29e
29
8

【図１１】


(a)
12
8e
8b
8d
8c
8e
8
39a
39c
39b
39c
39
(b)
8e
8b
8c
8d
8e
8
11′
禁煙
39c
39c
39

フロントページの続き

(56)参考文献 実開平０６－０００４８７（ＪＰ，Ｕ）
実開平０３－１１２２９９（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
A63F 7/02
A63F 5/04 512